

# 日本オーセンティックバー連盟発足について

一般財団法人 カクテル文化振興会  
理事長 岸 久

昨今の新型コロナウイルスの蔓延により、我々バー業界を取り巻く環境は悪化の一途を辿っております。

政府行政からの休業要請におけるオーセンティックバーの立ち位置は、カテゴリー定義があまりにあいまいで、国民の必要不可欠な飲食をつかさどるレストラン、居酒屋が時間短縮を余儀なくされたとはいえ営業が可能で、同じ飲食店営業許可証を受けているにもかかわらず、オーセンティックバーは、接待を伴うバーとしてガールズバー等と横並びにカテゴライズされており、日本最大の繁華街を有する東京都に至っては、施設別休止要請の緩和ステップにおける接待を伴わないバーは、STEP3に組み込まれ、ヌードスタジオ、のぞき部屋、ストリップ劇場といった遊興施設等とされています。

この由々しき状況を踏まえ、カクテル文化振興会（以下 C.C.F.と呼ぶ）は、プロのバーテンダーによって営業を営んでいるオーセンティックバーを、次のように定義し、広く周知徹底して参ります。

オーセンティックバーとは、基本異性による接待を伴う遊興施設としてのバーとは一線を画した、レストラン、居酒屋等と同類の営業許可証を持つ飲食店である。

その内容は、レストランや居酒屋に様々な形態があるのと同様多岐に渡り、カクテル、ウイスキーなどを主軸に営業を行う地域に根差したバー、ホテル内に併設されたバー等様々な営業種別があり、提供する内容も酒類を中心に食事、軽食、デザート等食品も多種多様であり、さらにはカウンター、テーブルといった設備などにより様々な営業形態が存在するが、如何なる形態もしくは規模であっても、プロフェッショナルのバーテンダーを有するバーを指すものである。

※今後の予定として会員を募り、組織化していく予定です。

入会資格：上記を網羅するオーセンティックバーの各店舗

会 費：無料